

日本と世界

本当がわかる 明日が見える

「赤旗」をぜひお読みください

「これまでの政治はウソだったのか。日本は本当はどういう国だったのかを知りたい」——大震災と原発事故をきっかけに、多くの国民のみなさんが、こんな思いを強め、「真実は何か」を見極めようとしています。

「しんぶん赤旗」は、こうした国民のみなさんの模索と探求にこたえることができる新聞です。世界と日本の本当がわかる、明日が見える——それは、いかなる権力にも屈せず、大企業の広告に頼らず、国民とともに政治を変える未来を見すえた「赤旗」だからこそできることです。

激動の世界と日本の日々、動きを、こうした立場で伝える「赤旗」日刊紙を、ぜひ一度、手にとってお読みください。



最も信頼できる存在

原発事故で国民は今、疑心暗鬼の状態です。日本共産党が以前から原発の危険を指摘してきたことは知られてきたし、今度は「赤旗」が九州電力の「やらせメール」をすつば抜いた——これらの点で、今もっとも信頼できる存在となっています。

実は私も以前、原発関連の広報の仕事をしたことがあります。「人間がコントロールできる」と説明されましたが、まったく違っていました。ブレない共産党に、原発から撤退し自然エネルギーに転換する政策をリードしてほしいと思います。

漫画家
やくみつる



いま「赤旗」を

歌手

普天間かおり



被災地の声に思い強く

3月11日の地震があったとき、ラジオ福島で生放送中で、祈るような思いで避難を呼びかけていました。

その後、スタートさせた支援活動「Smile again 0311」と子どもたちへ本を贈る「スマイル文庫」など、「赤旗」にもとりあげてもらいました。

「赤旗」紙面でも掲載される被災地の声、また全国からの応援メッセージを読み、改めて復興への祈りを強くしています。一緒にがんばりましょう！

3月11日の地震があったとき、ラジオ福島で生放送中で、祈るような思いで避難を呼びかけていました。

キャンペーン 展開中

原発ゼロの日本へ

日本共産党は「原発からのすみやかな撤退」を国民的世論にする一大闘争を呼びかけています。「しんぶん赤旗」は「原発ゼロの日本」に向けて、各界の発言や各地の運動を紹介するとともに、原発の真実に迫る特集・連載企画を連打し、キャンペーンに全力をあげています。



■「しんぶん赤旗」のプロフィール■

- 日本共産党の機関紙。1928年2月1日創刊。言論の自由がなかった戦前の暗黒の時代に、侵略戦争反対、国民主権など真実の主張を伝えるために、あえて「非合法」で発行。以来、いかなる弾圧・迫害に屈せず、真実の報道を続けています。
- 編集局のスタッフは320人。全国に九つの総・支局をおき、海外ではカイロ、北京、ハノイ、ロンドン、ワシントン、メキシコ市で特派員が活動しています。
- 日刊紙は全国6カ所の印刷工場で印刷され、専用トラックで各地に運ばれ、党员ボランティアなどの手によって、各家庭に配達されます。
- 「赤旗」には、日刊紙のほか、毎週日曜日発行の週刊新聞「日曜版」（タブロイド判36ページ）があります。

大切なこときちんと

「赤旗」の魅力は、他のメディアが伝えない大切なことをきちんと報じていることです。また、暮らしの視点がしっかりしています。ね、びっくりしたのは、宮城県の復興構想に財界系シンクタンクが関与していたという記事。大企業が漁業権を獲得しやすくなる「水産特区」構想がでてきた背景をスバリつけていました。

私は、新聞の重要な記事は切り抜いているのですが、一般紙より軸足が鮮明な「赤旗」の記事が、どうしても多くなっています。

元神戸大学大学院教授、
元第一勧銀総研専務理事
山家悠紀夫



東日本大震災と原発災害の取材の第一線に立つ、本紙の若い記者たちが口をそろえます。当初、ためらい戸惑い悩みながらメモ帳を開き、カメラを構えた、と▼被災者に、どんな声をかけたらいいいのか。しかし、写真家の森住卓さんが証言します。「被災地は」世界の戦場で砲弾が飛び交う中を歩いてきた強者にさえ、その破壊のすさまじさに立ちすくみ息をのんだと、一様に言われる風景だった▼フリーの写真家や映像作家が集う日本ビジュアル・ジャーナリスト協会の写真集『3・11メルトダウン』に載る、森住さんの言葉です。大津波の被災地、福島第1原発の周辺、原発災害で村ぐるみ避難の飯館村を撮った写真集です▼一枚一枚に、おしなべて厳粛な雰囲気があったように、目をそらしたくなる現場写真からも伝わる、撮る側の魂の念と死者に語らねたい気持ち。人々の表情や全身が発する、不条理な現実への静かな怒り、それでも生きようとする生命力▼がれきの中にもつめた銘酒で乾杯する酒蔵の人たちと海女さんの笑顔（野田雅也さん撮影）から、声が飛んできそうです。「まあ、ここから出発だぞ」…『3・11メルトダウン』の題名について、山本宗輔さんが解説します。福島第1原発だけではなく「政府もマスコミもメルトダウン（炉心溶融）したのである」▼新聞・テレビの原発報道をみれば、うなずけます。人々と苦難をともにして抜いているのですが、一般紙より軸足が鮮明な「赤旗」の記事が、どうしても多くなっています。

購読のお申し込み

お近くの党事務所または党员か、日本共産党中央委員会へ 〒151-8586東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7 ☎03 (3403) 6111 ファクス03 (5474) 8358 メールアドレス info@jcp.or.jp

購読申込書	日刊3400円 ▶日曜版800円 ○印をおつけください
	お名前
住所	

「しんぶん赤旗」ここが違います

タブーなく真実伝え

九州電力の「やらせメール」問題。さらに、佐賀県玄海町長の弟さんが社長をつとめる建設会社が九電から約54億円もの工事を受注していた事実。これらのスクープを次々とモノにしたのは、大手メディアと呼ばれる新聞社やテレビ局でもない。本紙スクープ・菅井賢問が動かす「しんぶん赤旗」だ。このころ、スクープを連発している「赤旗」を正面から「タブーなく真実を伝える」として、電力会社に遠慮して報じなかつたのか」という声も。

■スクープ連発 権力・大企業にもズバリ



「既存の大手メディアの劣化は著しい」—米紙ウォール・ストリート・ジャーナル日本版（7月20日ネット版）のコラムはこう指摘し、「赤旗」に内部告発が寄せられたことについて「赤旗の報道ぶりに注目し、『この新聞ならば報じてくれるのでは』という期待が高まった可能性もある」。権力と対峙しタブーなく真実を伝える「赤旗」にいま大きな注目が寄せられています。

本当を知れば 明日が見える

■南米・中東…情報は質量とも「突出」

「南米報道に敬意を表す。国際面の真価です。『赤旗』ならではの視点だ」

「アメリカの労働環境、中米の地域統合など、現状や事態打開のための運動がわかる」

「赤旗」は、主要資本主義国が中心となる時代から、新興国が役割を増している世界の構造変化に注目。中東民主化のうねりや各国の市民の運動、平和を求める草の根の動きの紹介に力を入

世界の变化を追う

ています。こうした報道姿勢は定評があります。ある軍事アナリストは自分のブログで、「中東情報なら『赤旗』とこう紹介しています。『ちょっと意外だったのが、『赤旗』は中東の民主化運動に対して全面支持のスタンスで、関連ニュースが他の全国紙などよりずっと充実していたことです。…情報としても『赤旗』は質量ともに突出しているように思います」



■くらし・雇用・平和 国民とともに

大震災で壊滅的打撃を受けた三陸沿岸地域の漁民や漁協の思いに寄り添い、「三陸漁業の復活」を紙面づくりの柱に。なかでも、政府の復興構想会議や宮城県知事が推進する「水産特区」構想をめぐって、他メディアが賛成・推進の報道を続けるのに対し、「赤旗」は「漁民や漁協を無視し浜の秩序を壊すもの」と、反対のたたかいを強める漁業者の思いを伝えていきます。「漁民の立場がなんばってくれるのは『赤旗』だけ」と信頼が広がっています。

ソニーの横暴正す

大企業のソニーが、震災被害を口実に仙台テクノロジーセンター（宮城県多賀城市）の期間社員150人を雇い止めにする計画を発表したのに対し、

「保育のことなら『赤旗』」

民主党政権の下、「新システム」と称して公的保育の解体の動きが、関係者や父母の不安をよそに強引にすすめられています。「新システム」は何をもたらすのか、保育所探し、保育料、保育の自身は、「赤旗」は議論の流れやその問題点を、保育の実態にたつて系統的に報道。保育関係者から「赤旗」を読んで改善の動きが初めて分かった「保育のことなら『赤旗』」の声が上がっています。

「苦難」あるところに

漁業者に寄り添う

いし、期間社員22人が組合に加入し雇用継続を求め立ち上がりました。他メディアが報じないなか、「赤旗」は国の復興構想会議に委員を出しているソニーが、率先して首を切るのを許さないとその横暴を告発、労働者を励ましています。

沖繩の声 全国へ

米政府が発表した、来秋からの新型機オスプレイの普天間基地配備計画に、沖縄県民の怒りや懸念が広がっています。「赤旗」は、オスプレイの騒音、危険性を連続的に告発し、専門家から「赤旗」ならではの企画」という評価も。普天間基地にかわる新基地建設計画をめぐる日米政府の動きや沖縄県民の反対運動なども詳しく報じ、「基地のない平和な沖縄」を願う沖縄県民の声を、全国紙として唯一、発信しています。



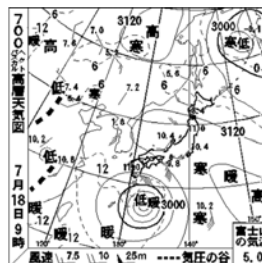
- 政治面
- 国際面
- 国民運動面
- 経済面
- 党活動のページ
- 社会面
- 学問・文化面
- くらし・家庭面
- スポーツ面
- 読者の広場
- 地方のページ
- レジャー・クイズ
- テレビ・ラジオ欄
- 青年のページ

「赤旗」だけのお得・お役立ち情報

◆第一線の人物が登場、知的魅力あふれた学問・文化面

◆フェアプレーを伝え選手の権利と環境を守るスポーツ面

囲碁第36期 新人王戦
将棋第42期 新人王戦



◆法律・年金から医療・教育・育児まで無料電話相談
◆登山愛好家に欠かせない高層天気図
◆囲碁・将棋「新人王」戦の棋譜を毎日掲載

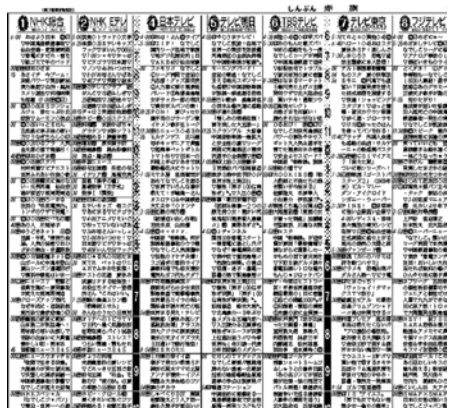
年金 社会保険
赤ちゃん 子ども
税金 障害児教育
性ど生 マンション住宅

赤旗 電話相談
03-3350-5246
午後2時～4時

●あらかじめ要点をメモしてお電話を。
●はじめに名前と電話番号、県名を。
●手紙による相談にはお答えしかねます。



◆くらし・家庭面は医療、教育から料理まで、くらし全般



◆あすの放送を見つめ、充実のテレビ・ラジオ番組欄